



ごみ減量特集号

お問い合わせ
環境課ごみ・リサイクル係
☎042-378-2111
☎042-378-3310
✉kankyouty@city.inagi.lg.jp

広報



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
公式ツイッター http://twitter.com/inagi_city
◀メール配信サービス(登録される方は、左のQRコードから、または「inagicity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください)

市役所(代表) ☎042-378-2111
平尾出張所 ☎042-331-6346
若葉台出張所 ☎042-350-6321
開庁時間 午前8時30分~午後5時

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781

みんなで目指そう！ ごみ減量

どうすればいい？ 家庭でできる ごみ減量

ごみの出し方を考えよう

- 生ごみは水切りをして出す、生ごみ処理機を利用する
- 資源物は、資源の日に出す「混ぜればごみ、分ければ資源」
例) 資源集団回収・店頭回収などを利用、使用済み小型家電は小型家電回収ボックスか宅配回収・イベント回収を活用

ごみを増やさない方法を考えよう

- 余分な物は買わない
- 使い捨て商品は使わない
- まだ使える物は他の人に譲る、リサイクルショップに持っていく

いらなくなったペットボトルで簡単水切り



ごみが増えると？

莫大なお金がかかる

ごみの処理にはお金がかかります。皆さんからの税金・処分手数料がごみ処理経費に使われます。

エネルギーを消費

焼却施設などを動かすための電気、収集車の燃料など、多くのエネルギーが使われます。

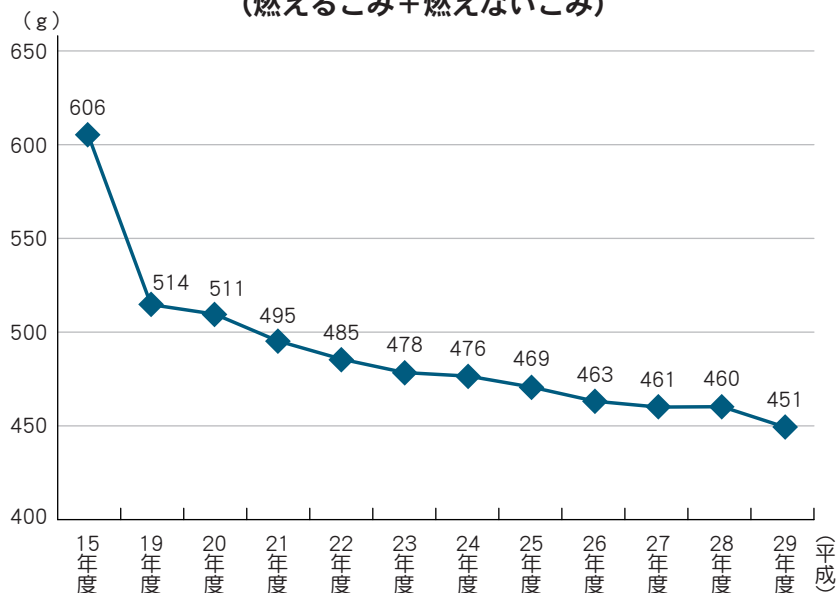
環境負荷がかかる

ごみ焼却の際の温室効果ガス(CO₂等)増加による気温上昇、適正な処理が出来なくなった場合に大気汚染や土壌汚染などが発生します。

稲城市で出たごみの量

平成29年度の稲城市民1人1日当たりのごみ量(燃えるごみ+燃えないごみ)は451gでした。昨年度と比べると8.8g減少し、年間になると市民1人当たり約3,212gの減少となっています(下図参照)。

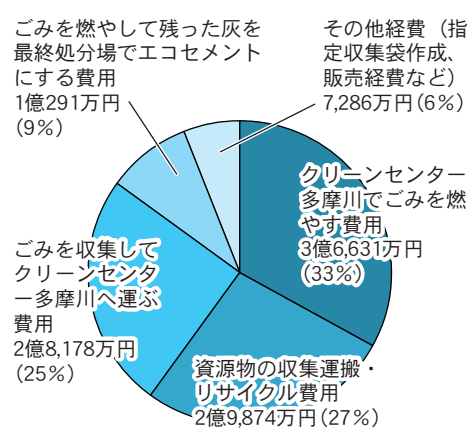
1人1日当たりのごみ量
(燃えるごみ+燃えないごみ)



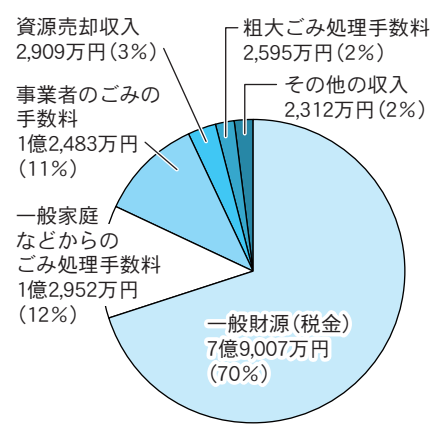
ごみの処理にかかる経費

平成29年度のごみ処理にかかった費用は、収集運搬やごみ焼却など、合計約11億2千万円でした。このうち約3割を市民・事業者がごみ処理手数料として負担しています。残りの約7割は皆さんの税金が使われています(下図参照)。

ごみ処理経費 (11.2億円)



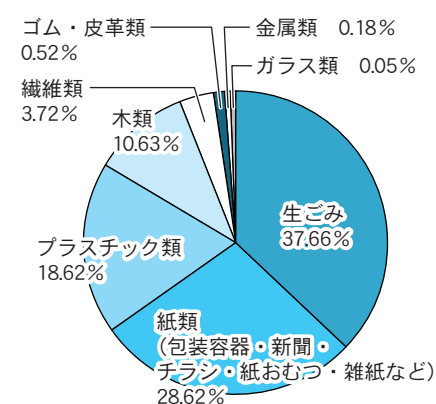
財源 (11.2億円)



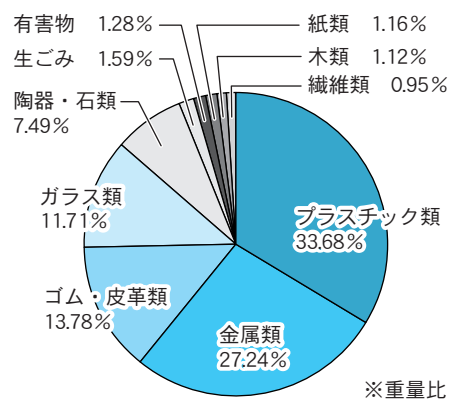
ごみの中身を分析しました

平成29年度に各家庭から出たごみに「何が」「どれだけ」含まれているか、組成分析調査(サンプル調査)を行いました(下図参照)。下図で多くを占める生ごみ・紙類・金属などの資源物は、水切り・リサイクル・分別で減らすことができます。

可燃ごみ



不燃ごみ



※重量比

ごみの出し方を確認しよう

誤って分別されやすいごみ

燃えるごみ

ケチャップ等のチューブ容器



硬いプラスチック製品は燃えないごみですが、シャンプー・ケチャップ等の柔らかいプラスチック容器は燃えるごみです。

燃えるごみ

写真など



紙はリサイクルできますが、写真・シール・シュレッダーにかけた紙などはリサイクルできず燃えるごみです。新聞・雑誌・ダンボール等は古紙です。

燃えるごみ

ビデオテープ



硬いプラスチックは燃えないごみで、ビデオテープは硬いプラスチックですが、テープが不燃破砕機に巻き付き、故障の原因となるため燃えるごみで出します。

有害ごみ

シェーバーや電動歯ブラシ



硬いプラスチックは燃えないごみですが、電池は有害ごみです。充電式電池が取り外せない機器は、収集車の火災原因になるため、有害ごみか使用済み小型電子機器回収ボックスに出してください。

ペットボトルの出し方



中身を空にして水洗い



ラベルとキャップを外す(燃えるごみへ)



潰してから、資源回収ステーションのペットボトル用のかごへ出す
※潰さずに出すと、かごから溢れ出てしまいます。

ペットボトルとして出せる物

- 飲料 ○みりん類 ○しょうゆ・めんつゆ
- 食酢・調味酢 ○ノンオイルドレッシング調味料などのペットボトル

ペットボトルとして出せない物

- 燃えるごみへ**
- キャップ・ラベル ○油の付いた容器
 - シャンプー等の容器 ○「プラ」マークのある物
 - 臭い・内容物が取り除けない容器
- 燃えないごみへ**
- ウォーターサーバー用の大型硬質ボトル

悪天候時のごみ等の収集

積雪の影響で収集車が坂道を上れない時や、強風などで資源回収ステーションに設置したかごが飛散する恐れがある時は、ごみや資源物の収集を中止する場合があります。

悪天候時に資源回収ステーションへかごが設置されていない場合は、次の収集日まで自宅での保管をお願いします。収集を実施する場合でも、飛散などの可能性があるため、できる限り当日の朝に出してください。

悪天候時の収集の変更は、市㊟・稲城市メール配信サービス等でお知らせします。

ごみ減量方法をご説明します

環境課職員が伺い、皆さんからの質問にお答えする「ごみ減量説明会」を開催しています。処分方法やリサイクル方法など、悩みや疑問にお答えします。

事前に知りたい内容をお伝えいただければ、希望に沿った内容でご説明します。

主な説明内容

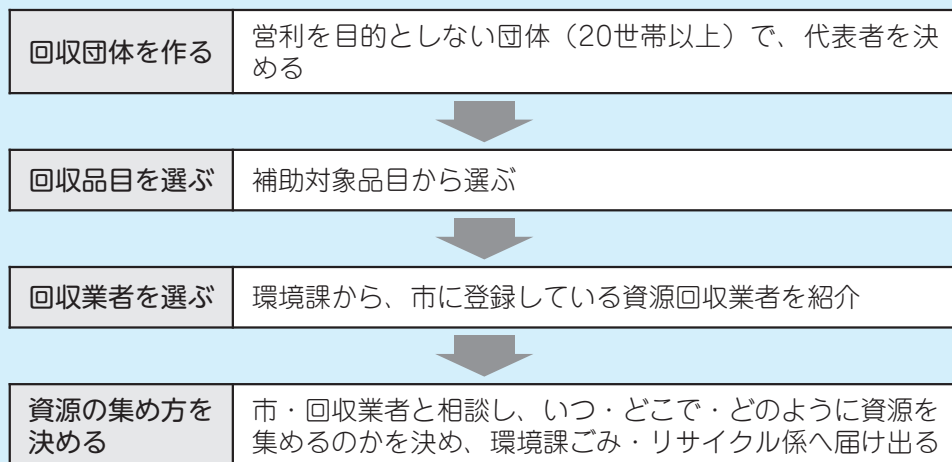
- 各家庭でのごみの分別に関する悩み
- 地域のごみの特徴 ○ごみ処理の流れ
- 昨今の廃棄物事情など
- ▷対象 市内在住・在勤・在学の団体やグループ
- ▷申込期限 希望日の2週間前
- ▷申込先 環境課ごみ・リサイクル係

みんなで始めよう 資源ごみ集団回収

資源ごみ集団回収は、地域の団体が、自主的に回収場所や回数を決め、資源物を集めて、市へ登録した回収業者へ引き渡す活動です。登録実施団体に対しては、回収量に応じた補助金を交付しています。

回収活動を通じた地域での親睦交流や、リサイクル意識の向上に役立っています。

集団回収の始め方



補助対象品目・補助金額(下表参照)

補助対象品目	補助金額
古紙類(新聞・雑誌・雑がみ・ダンボール・牛乳パック)、古布、リターナルびん、スチール缶	9円/kg
アルミ缶、食用廃油	6円/kg

※市内マンション(845戸)での実績例=年間回収量6万790kg(週1回古紙・古布を回収)、補助金交付額54万7,110円